

次世代フェローシップ・次世代AIフェローシップ 合同説明会

2025年12月10日、12日



広島大学
大学院生支援プロジェクト
Hiroshima University Postgraduate Advancement Project



説明会スケジュール

1. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING）について
2. 広島大学次世代AI人材育成・支援プロジェクトについて
3. 質疑応答

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム

Program for Developing and Supporting the Next-Generation of
Innovative Researchers at Hiroshima University
(HU SPRING)



広島大学
大学院生支援プロジェクト
Hiroshima University Postgraduate Advancement Project



文部科学省「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」の支給対象について

「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」事業に関し、文部科学省より「研究専念支援金（生活費相当額）支援の対象は日本人学生に限定する」旨の方針が示されたことに伴い、当該事業により実施する「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」は、日本国籍を有する者または永住者等の一部の在留資格を持つ者のみが支援対象となります。

○「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」の支援対象者（2026年4月支援開始分から）

以下の国籍要件または在留資格等のいずれか該当する者。

- ① 日本国籍を有する者
- ② 特別永住者（入管特例法第3条の規定による法定特別永住者として本邦に在留する者）
- ③ 永住者（法務大臣から永住の許可を得た者）
- ④ 日本人の配偶者等（日本人の配偶者、子、特別養子）
- ⑤ 永住者の配偶者等（永住者・特別永住者の配偶者及び本邦で出生し引き続き在留している子）
- ⑥ 定住者（一定範囲のインドシナ難民、一定範囲のヴェトナム難民、日系3世、定住者の配偶者、帰化した日本人・永住者・特別永住者・定住者の実子、中国残留邦人及びその子、日本人の実子を扶養する外国人親などのうち、将来永住する意思が認められる者に限る。）
- ⑦ 家族滞在（下記のいずれにも該当する者に限る。
 - ・日本国内で出生又は12歳に達した日に属する学年の末尾までに初めて入国した者。
 - ・日本の小学校等から高校等までを卒業・修了した者。
 - ・博士（後期）課程修了後も日本で就労して定着する意思がある者。）

※「広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト」については、支援対象者は変わらず、引き続き”留学”などの在留資格の留学生も支援対象です。

本学では、別途、外国人留学生を支援する「広島大学グローバル博士フェローシップ制度」を創設しますが、本説明会は「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING）」及び「広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト」⁴に関する説明会となります。

Regarding Eligibility for MEXT "Support for Pioneering Research Initiated by the Next Generation (SPRING)"

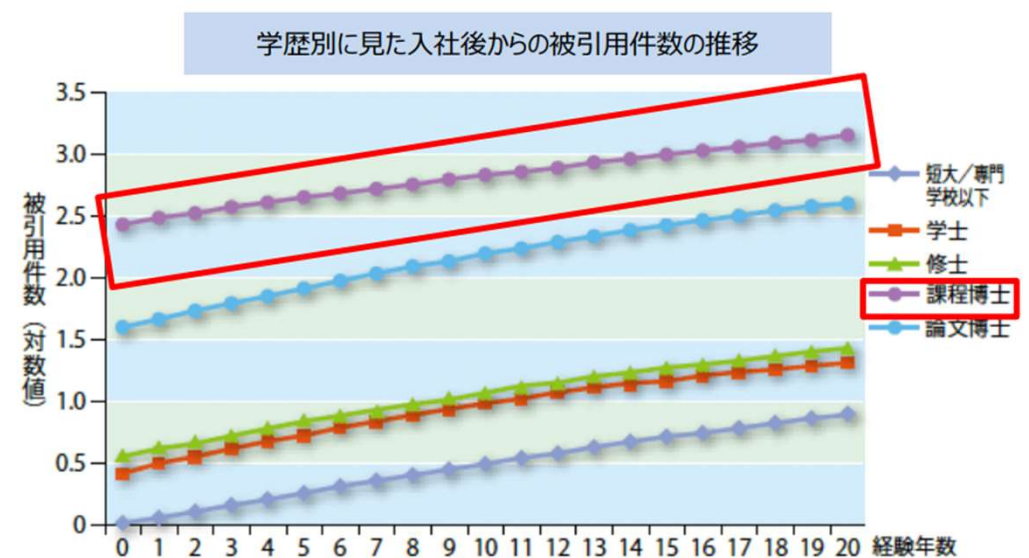
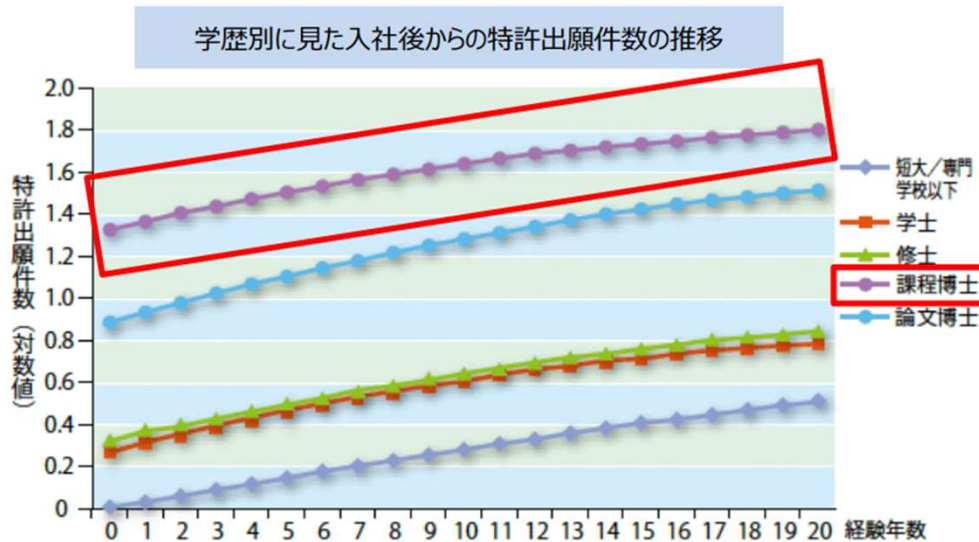
MEXT has announced the following policy: "Support for the stipends (equivalent to living expenses) shall be limited to Japanese students." Accordingly, the "Program for Developing and Supporting the Next-Generation of Innovative Researchers at Hiroshima University" implemented under this initiative will only support individuals holding Japanese nationality or certain residence statuses such as permanent residents.

※ International students remain eligible for support under the "Project for Developing and Supporting the Next-Generation AI Researchers at Hiroshima University."

Hiroshima University will separately establish the "Hiroshima University Global Doctoral Fellowship" to support international students. However, this information session pertains to the "Program for Developing and Supporting the Next-Generation of Innovative Researchers at Hiroshima University (SPRING)" and the "Project for Developing and Supporting the Next-Generation AI Researchers at Hiroshima University."

なぜ博士人材が重要か

- 博士人材は、深い専門知識と課題発見・解決能力などの汎用的能力によって、高い発明生産性をもってイノベーションへ貢献し、社会全体の成長・発展をけん引することができる重要な存在。
 - 博士＝研究者ではなく、博士＝複雑な課題への解決策を提示できる能力を持つ者。
- 博士人材は、複雑化する社会の中で、アカデミアだけでなく、産業界を含めた多様なフィールドでの活躍することが期待されている。



修士号取得者と比較して、博士号取得者は、特許出願件数とその被引用件数が高く、キャリアを通じて、高い発明生産性がさらに上昇していく。

出典：独立行政法人経済産業研究所ディスカッション・ペーパー:12-E-059「企業内研究者のライフサイクル発明生産性」(2012年9月 大西 宏一郎(大阪工業大学)／長岡 貞男(一橋大学))
※「RIETI発明者サーベイ」を基礎データとして、単一の企業に長期間にわたって勤務している約1,700人の発明者を対象に特許出願件数とその被引用件数を集計・分析。

引用：「博士課程学生への支援について」文部科学省科学技術・学術政策局(令和3年11月15日)

なぜ本プログラムが実施されているか（国・文部科学省の動き）

背景・課題

- 博士後期課程学生は、我が国の科学技術・イノベーションの一翼を担う存在であるが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配である」等の理由により、修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率は減少傾向にある。
- このため、①優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し処遇向上を図るとともに、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進めることが急務。

【経済財政運営と改革の基本方針2023（令和5年6月16日閣議決定）抜粋】

博士課程学生の処遇向上、挑戦的な研究に専念できる環境の確保、博士号取得者が産業界等を含め幅広く活躍できるキャリアパス整備等、魅力的な展望が描けるよう総合的な支援を一層強化する。



【支援内容】

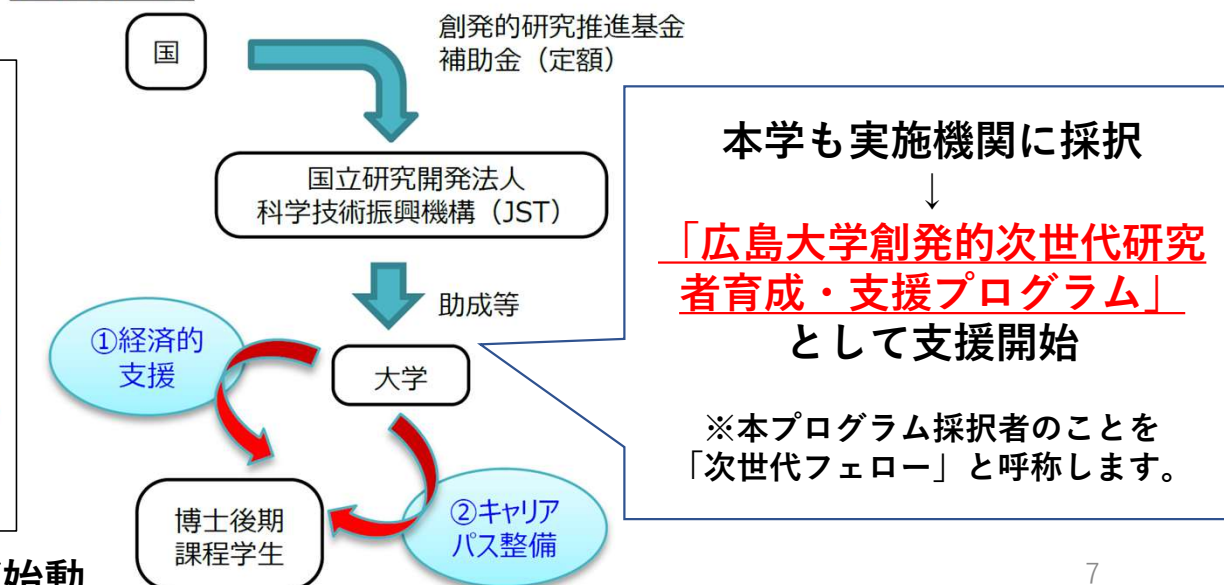
①優秀な博士後期課程学生への経済的支援

優秀な博士後期課程学生を選抜。学生が研究に専念できるよう、生活費相当額（年間180万円以上）及び研究費からなる経済的支援を実施。

②博士人材のキャリアパス整備

高度な研究力を有する博士人材が多様な分野で活躍できるよう、企業での研究インターンシップや海外研鑽機会の提供、マネジメントなどのスキル形成等の取組を実施。

【支援スキーム】



➡ JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」が始動

次世代フェローへの支援内容について（経済的支援）

経済的支援

●研究専念支援金 19万円/月＋研究費 40万円/年を支給（年合計 268万円の支援）

●各種支援プログラムの提供（※2024年12月時点。各プログラム内容は変更することがあります。）

・総合知研究支援プログラム

異なる研究分野の学生間で行う共同研究の経費を支援

採用予定件数: 10件程度

助成金額: 1件あたり上限100万円程度

・世界に羽ばたけ海外研究活動支援プログラム

研究留学、海外での研究活動に必要となる経費を支援

採用予定件数: 20件程度

助成金額: 1件あたり 上限100万円程度

・スキルアップイベント企画への助成

研究者としてのスキル形成に資するイベントの企画・運営の経費を支援

採用予定数: 若干名

助成金額: 1件あたり上限50万円程度

●HU SPRING奨励賞

予定数: 30名～40名程度（各活動や取組において優秀な成果・成績を挙げた支援学生）

支援金額: 1人あたり12万円の研究奨励費を追加支給。

次世代フェローへの支援内容について（キャリアパス整備）

キャリアパス整備（研鑽・スキル形成機会の提供）

●3QUESTIONS

研究についての3つの設問に答える形のポスター発表を行うイベント

●未来博士3分間コンペティション

1枚のスライドと3分間という時間で研究内容を伝えるスピーチ全国大会

●ジョブ型研究インターンシップ

産業界と大学が協力して実施する、長期・有給・ジョブ型のインターンシップ

●英語教育プログラム

英語によるディスカッションスキルを磨くためのオンラインプログラムを提供

●セミナー・ワークショップ

英語論文執筆や英語プレゼンテーションのスキル向上に関するセミナー・ワークショップを実施

※2026年度の各支援コンテンツの実施スケジュールは採択後の説明会でご案内しますが、過去に実施した支援は以下のHPで閲覧可能です。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/huspring/support>

株式会社アカリクと連携したイベント

株式会社アカリクと連携して、各支援コンテンツにつながるワークショップも実施予定です。

●研究内容の伝え方ワークショップ

博士課程レベルの研究内容を一般社会にわかりやすく簡潔に伝えるプレゼンテーションスキルを形成するWS。

→「未来博士3分間コンペティション」へ挑戦する準備として活用しましょう。

●共同研究の創出支援ワークショップ

異なる分野を研究する学生同士が、自他の研究内容を整理し、協力しながら新しい研究テーマを創出するWS。

→「3QUESTIONS」と同日開催予定です。他の人のポスターを見ながらワークショップに参加し、異分野融合ができそうなテーマが見つかれば、「総合知研究支援プログラム」を活用しましょう。

●スキルアップイベント企画ワークショップ

学生の研究活動に資するイベント企画スキルを形成のため、アイデア創出及び企画設計を支援するWS。

→よい企画設計ができれば「スキルアップイベント企画助成」を活用して実際にイベントを運営してみましょう。

次世代フェローへのなすべきことについて

- ①毎年度1年間の研究計画を策定し、研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- ②研究活動の状況を定期的に大学に報告すること。
- ③各種調査に協力すること。特に本学修了後 10 年間のキャリアに関する追跡調査に必ず協力すること。
- ④大学が実施する研究力向上等に関するプログラムに参加すること。
- ⑤「広島大学における研究活動に係る研究倫理教育に関する細則」に基づき、必要な研究倫理教育を受講すること。
- ⑥「HU SPRING」が実施する取組やHIRAKU－PFで案内する活動等に参加すること。（特に「3QUESTIONS」は必ず参画し、「未来博士3分間コンペティション」は積極的に参画すること。）
- ⑦ジョブ型研究インターンシップのアカウント登録を必ず行うこと。

前述の支援プログラムやイベントを積極的に活用して、研鑽・スキル形成に役立てること。

求められる人物像

- 本プログラムでは、広い視野と知識をもち、優れた判断力と行動力を有する総合的な力で、我が国の将来の科学技術・イノベーションに貢献し、世界をより良くする取り組みを推進できる人材を求めます。
- 特に、広島大学で博士号を取得した後も我が国の科学技術・イノベーション創造に直接携わる意思を有する者を求めている、審査においてもこの点を重視します。

次世代フェローの採択枠・採択率

- 本学では全学年あわせて、379枠の支援枠があります。
- この枠のうちで、次世代フェローの修了や辞退、取消等で空いた枠を募集していきます。
- 2024年度からこれまで募集・選考を4回実施した結果、通算の採択率は62.3%でした。

※件数ではなく実人数による採択率

応募資格・要件※一部簡略化しています。応募する際には必ず募集要項を確認ください※

- 支援を開始する月の初日において本学大学院の博士課程に在学する者。ただし、標準修業年限を超えて在学している者及び休学している者を除く。
- 支援を開始する月の属する年の1月から12月までの間に240万円以上の収入(アルバイト等不安定な収入を除く)を得ることが見込まれない者。
- 日本学術振興会の特別研究員、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生又は母国からの奨学金等の支援を受ける留学生でない者。

日本学術振興会の特別研究員については、本プログラムの“併給”はできませんが“併願”は可能です。次世代フェローに応募する学生には特別研究員にも応募することを強く推奨しています。特別研究員採択時には、本プログラムを辞退していただき、一人でも多くの学生を支援するためその枠を活用します。

- 他の奨学金等との併給が不可とされる地方公共団体や民間団体等の奨学金を受けることが見込まれない者。

併給不可の奨学金については、“申請中（結果待ち）”であっても本プログラムには応募できません。

※他財団の奨学金へ申し込み、その後、申請取り下げや辞退を行った際に、財団と大学の関係が悪化し、他の学生が奨学金に申し込めなくなる可能性があるため、一律に不可としています。

HU SPRING申請書 作成上の注意点(1)

「学振DC申請書をベースに作成可能です」

2. 【研究計画】※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。←

(1) 研究の位置づけ←

フェローとして取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。←

なお、本項目は 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。←

【研究計画】(続き)※他分野の審査員も読むことを意識して、適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。←

(2) 研究目的・内容等←

① フェローとして取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。←

② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。←

③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。←

④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。↓

⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む。)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。←

なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で 2 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。←

3. 【研究遂行力の自己分析】←

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。←

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 2 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分(四角い枠で囲われた部分)は消さないでください。←

HU SPRING申請書 作成上の注意点（2）

HU SPRING 申請書（学振DC申請書と異なる点）

4. 【目指す博士人材者像等】

本フェローシップは、日本の将来の科学技術・イノベーションに貢献し、世界の未来を担う人材となる博士課程後期学生を支援・育成し、羽ばたかせることを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す博士人材者像」、(2)「目指す博士人材者像に向けてフェローの採用期間中に行う研究活動及び広島大学が実施する博士人材力向上のイベント活動の位置づけ」を記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

→本学では先述した各支援を用意しています。こういったの支援を“どのように活用して目指す博士人材像に向けて研究活動を実施していくのか” を記載してください。

5. 【日本の科学技術・イノベーションへの貢献】

前問の「目指す博士人材者像」を踏まえて、現時点で想定しているキャリアプランにおいて、博士号取得後に日本の将来の科学技術・イノベーションにどのように貢献するのか（特に博士号取得後 10 年間について）を記入してください。なお、留学生の場合、母国や第三国ではなく、なぜ日本の科学技術・イノベーションへ貢献しようと思うのかという観点を含めて記入してください。

※各事項の字数制限はありませんが、全体で 1 頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。この記載内容の指示がある部分（四角い枠で囲われた部分）は消さないでください。

「日本の将来の科学技術・イノベーションへの貢献」に関する記述を求めます。

→「日本の現状」を把握したうえで、「自身の経験・強み」を「具体的に」、将来「どこ」で「どのように」生かしたいのか？を考える機会としてください。

- ✕ 単に研究員として研鑽を続ける、国際性を高める
- ✕ 海外の・・・研究室で研究員になり、高インパクト論文を出版する
- ✕ 単に日本で大学・企業等で研究者・技術者になる

HU SPRING申請書 作成上の注意点（3）

● 申請書には指定の書式があり、文字サイズやページ数にも指定があります。

● 申請には指導教員（入学前の学生は受入予定教員）のご確認が必要です。

※これまでの事例として・・・

- ・ 指定書式以外で応募
 - ・ 指定のページ数を超過
 - ・ 教員の確認チェック欄に確認を得ずに応募
 - ・ チェックシートの未提出、チェック漏れ
- これらは、審査対象外となる場合があります。

応募書類 チェックシート ☒

※本チェックシートも申請書類とともに、提出が必要です。
※チェックシートに不備がある場合は、審査に付されないことがあります。

項目	チェック内容	チェック欄
【研究計画】 (1)研究の位置づけ	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること 過不足ない文章量で、1頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【研究計画】 (2)研究目的・内容等	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること 過不足ない文章量で、2 頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【研究遂行力の自己分析】	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること 過不足ない文章量で、2 頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【目指す博士人材者像等】	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること 過不足ない文章量で、1頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
【日本の科学技術・イノベーションへの貢献】	文字サイズは 11 ポイント以上で作成されていること 過不足ない文章量で、1頁に収まっており、様式変更・追加が無いこと	<input type="checkbox"/>
指導(予定)教員との調整	応募書類は指導(予定)教員と相談の上で作成されたか。 或いは、指導(予定)教員が記載内容を承認しているか。 日本の科学技術・イノベーション創造に直接携わる意思を指導(予定)教員が確認できているか。	<input type="checkbox"/>

【指導(予定)教員所属】：
【指導(予定)教員氏名】：

上記内容を確認しました ☐

※指導(予定)教員の自署・押印は不要です。

HU SPRING申請書 作成上の注意点（4）

- 研究者として、他人の文章を剽窃することは許されません。
- 過去の申請書等との類似性をチェックし、不正があった場合には採択を取り消すと同時に、支給した研究専念支援金および研究費の全額返還を求めます。



申請書は、自身の創作する文章で作成しましょう。
他者の文献を引用する必要がある場合には、出典元を明記するなど、引用のルールに基づいて行ってください。

（参考資料）

- レポート作成上の注意（2016年3月改訂）
- 研究倫理教育（大学院生Basic）研究活動における不正行為の防止について」

二次審査について

●申請書による一次審査（書面）を行い、
その後、一部の申請者に対してのみ、二次審査を実施予定です。

一次審査は、原則、専門分野の近い審査員 1 名、他分野の審査員 2 名で審査を行います。

→他分野の審査員にもわかりやすい申請書としてください。

●二次審査は動画や面接により行う予定です。

二次審査の審査形式や詳細については、対象者に別途e-mailで通知しますが、「研究内容」や「日本の科学技術・イノベーション創造に寄与する自身のキャリアパス」について、わかりやすく説明を求めるものとなります。

二次審査の対象になる場合に備えて、研究内容やキャリアパスについてわかりやすくまとめておくなど準備をしておいてください。

HP・各種問い合わせ先について

広島大学HP「大学院生支援プロジェクト」：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship>



問い合わせ内容	問い合わせ先	連絡先
<ul style="list-style-type: none">・次世代フェローの募集、選抜、義務に関する事・研究専念支援金に関する事	グローバルキャリアデザインセンター	fellowship@office.hiroshima-u.ac.jp
<ul style="list-style-type: none">・各種支援プログラムに関する事	HU SPRING事務局 (学術・社会連携支援部)	hu-spring@office.hiroshima-u.ac.jp
<ul style="list-style-type: none">・次世代フェローの研究費、予算管理に関する事	学術・社会連携支援部	gakujutu-project@office.hiroshima-u.ac.jp

こちらも参考にしてください



日本語

English

中文

大学院生支援プロジェクト

サイトマップ | 交通アクセス | お問い合わせ

Google 提供



Home > 大学院生支援プロジェクト > よくある質問 (FAQ)

大学院生支援プロジェクト

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

女性科学技術フェローシップ制度

HU SPRING

フェローの義務

よくある質問 (FAQ)

採択フェロー一覧

[English](#) >

よくある質問 (FAQ)

よくある質問については[こちら](#) をご確認ください。

よくある質問をまとめています。
随時更新しています。

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)>よくある質問 (FAQ)」
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/faq>

今後の次世代フェロー公募スケジュールについて

対象者	募集区分	2024					2025												2026												2027					...		
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	...	
2025年4月 入学予定者	2025年4月 支援開始分	募集・選考①					募集・選考②				採択者へ支援																											
2025年10月 入学予定者	2025年10月 支援開始分									募集・選考①				採択者へ支援																								
	2026年4月 支援開始分																			募集・選考②				採択者へ支援														
2026年4月 入学予定者	2026年4月 支援開始分									募集・選考①											募集・選考②				採択者へ支援													
2026年10月 入学予定者	2026年10月 支援開始分																																					
	2027年4月 支援開始分																																					
2027年4月 入学予定者	2027年4月 支援開始分																																					

【今回の公募期間】募集要項は12月8日から公開中。

申請書受付期間は、
12月15日（月）9時～1月5日（月）17時まで

標準修業年限まで支援

標準修業年限まで支援

【今回の公募期間】募集要項は12月8日から公開中。

申請書受付期間は、
12月15日（月）9時～1月5日（月）17時まで

「公式Webサイト＞大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム（SPRING）年間公募スケジュール」
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration/schedule>

今後の次世代フェロー公募スケジュールについて

大学院生支援プロジェクト

Home > 大学院生支援プロジェクト > 公募情報

大学院生支援プロジェクト

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)

広島大学創発的次世代AI人材育成・支援プロジェクト

女性科学技術フェローシップ制度

広島大学グローバル博士フェローシップ制度

HU SPRING

フェローの義務

よくある質問 (FAQ)

採択フェロー一覧

次世代フェローの声

説明会アーカイブ

関連する取組

ビュー 編集 最新バージョン リビジョン

公募情報

現在の公募情報

【2026/1/5応募締切】(SPRING)広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム(2026年4月支援開始分)の募集を開始します

募集要項や応募書類はこちらからご確認ください。

参考情報

12月10日及び12日に応募者説明会を開催後、12月15日(月)9:00~1月5日(月)17:00(日本時間)が申請書提出期間となりますが、募集要項や応募様式は事前に確認して、計画的に申請書作成を進めましょう。
説明会では事業の背景や申請時のポイント・注意点について説明しますので、申請予定者はなるべくご参加ください。(参加できない場合は、説明会開催後にHP上に掲載する説明会資料をご確認ください。)

【2025/12/10・12開催・要申込】次世代フェローシップ・次世代AIフェローシップ応募者説明会を開催します。

こちらに募集要項・応募書類などを掲載しています。

「公式Webサイト>大学院生支援プロジェクト 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム (SPRING)>公募情報
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship/nextgeneration/application>



Go beyond your comfort zone!

Hiroshima University strongly encourages our students to go beyond their comfort zone, in terms of not only academic abilities, but also interactions with people from different backgrounds such as other disciplines, nationalities, cultures, languages, etc.